

ディボーション質問表



11日(日)先週一週間のディボーションをふり返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

12日(月)列王記第二 5:1~27

1. ナーマンの信仰はどのようなものですか？その結果どうなりましたか(1~19節)？
 - a. ナーマンはエリシャに怒って帰りましたが、どうして癒されたのですか(13節)？
信仰の歩みで苦しんでいる人を励ますために何ができるだろうか？
 - b. 癒されたナーマンはどうしましたか(15~18節)？ 今まで与えられた神様の恵みを思い出してみよう。
2. エリシャの弟子ゲハジの信仰はどのようなものですか？その結果どうなりましたか(20~27節)？
26節「今は~の時だろうか？」の質問の意味は、偽預言者が金銭目的でミニストリーすることに対して真の神様に使える者は金銭を目的としないことを教えている表現と考えられます。

13日(火)列王記第二 6:1~17

エリシャの働きは具体的な実生活に密接に関わるものばかりでした。

1. エリシャの預言者学校の一人が困っていました。なにがありましたか(1~7節)？
たとえ小さなことでも精一杯の助けをする優しさ謙遜さをもっているだろうか？
2. 預言者エリシャに腹を立てたアラムの王は彼を殺しに行きます。どうなりましたか(8~17節)？
たとえピンチの時だろうが、わたしには全知全能の神様が共におられることを知る霊の目が開かれているだろうか？

14日(水)列王記第二 6:18~33

1. エリシャの敵への仕打ちはどのようなものでしたか(18~22節)？ その結果は何ですか(23b節)？
敵を愛し、迫害する者のために祈れる慈愛をもっているだろうか？
2. 偉大な神様のみ業をする者は、苦難の理由にもされることがあるようです(24~33節)
神様のことを預かる預言者的存在のわたしたちには責任があり、その重圧を感じる時があることを覚悟しているだろうか？

15日(木)列王記第二 7:1~20

1. ツアラアト(らい病)をわずらっていた人は、2つの行動をします。何ですか(3~5節、9~11節)？
今日できる思い切った行動は何だろう？ 聖書でツアラアトは罪を比喻しています。罪ゆるされ祝福された私はこの祝福を独り占めにしていないだろうか？ 今日証できる人はだれだろう？
2. 神様の声をうたがった人はどうなりましたか(17節)？

16日(金)列王記第二 8:1~29

この物語は、ゲハジがらい病になる前の話として、4章の出来事に関連したもののようです。

1. エリシャ(神様の働きをする人)をサポートし、その言葉に従順だった人はどのような祝福を得たでしょうか(1~6節)？
2. エリシャは、内面の邪悪さを見抜いていました(7~15節)
神様の前に隠せるものは何一つ無いことを自覚しているだろうか？
3. 神様の恵みは、王の行い次第ですか(19節)？ 主イエスキリストのゆえに私はゆるされている、無条件の神様の愛をおぼえているだろうか？ あるいは、それに甘えてユダの王のような生活はしていないだろうか？

17日(土)列王記第二 9章1~10節

1. エリシャはイスラエルの国を大変革させる預言を、若い預言者に託します。エリシャと彼の関係、またこの任務を託された若者の気持ちを洞察してみてください。
2. エリシャがひとりであることが多かったのに対して、エリシャは預言者の仲間達という姿が見られます。あなたには同じような信仰の仲間がいるでしょうか。その人達からどんな影響を受けていますか。
3. この若者はエファーに油注いだ後、すぐに逃げました。なぜでしょうか。預言者のはたらきと関連して考えてみましょう。